



□ 要旨 □

- |                        |       |
|------------------------|-------|
| 1. 避難所としての体育館の設備・機能の充実 | 6項目9点 |
| 2. 長岡京市の文化奨励事業         | 4項目8点 |

### 1. 避難所としての体育館の設備・機能の充実

- ・大規模停電時の対策
- ・蓄電・発電設備の整備
- ・着替え場所・化粧場所の確保
- ・コンセント、電源回路の整備
- ・WEB上の情報掲示板の整備
- ・雨に濡れないトイレへの動線

#### ●質問の背景（堤じゅん太のスタンス）

東日本大震災で被災された方々のご苦勞が連日報道されてきました。住み慣れた家から避難しての生活は心身ともに大きな負担がかかるものです。避難時に可能な限り生活を快適にするには、地域コミュニティがしっかりしていること、並びに避難所が使いやすいことが重要になります。そこで、学校体育館を想定した避難所としての設備に関して個別具体的に質問いたしました。

長岡京市は水害による避難が想定されます。水害時の避難は雨にぬれる確率が高いので、着替え場所の確保や雨に濡れないトイレへの動線確保など、雨対策が十分に考慮されているか確認をいたしました。また、避難所の状態がどのようなものであるか把握するために、市役所のHP上に避難している人数（子供／乳幼児・高齢者・病人・男女）や不足物資等の情報を避難者の方から提供していただけるようなフォームを作成してはどうかという提案をしました。

#### ●答弁概要

##### <教育長答弁>

- ・構造耐震指数（Is値）0.7未満の体育館11校は今年度中に耐震化工事が完了する。
- ・現在の耐震工事は学校活動のための最低限の設備のため、災害時の大規模停電時に対して停電対策や電力確保の設備は含んでいない。但し、小型発電機は各校区に1台ある。
- ・教育のための施設なので、発電設備やコンセント・電源回路の整備は対象としていない。
- ・着替え場所は会議室や隣接するスポーツクラブや武道場を利用してもらう。

##### <総務部長答弁>

- ・避難所としての適正なコンセント数や電源回路割の基準は簡単に想定できない。
- ・WEB上の情報掲示板の整備について：災害時は速やかに職員を避難所に配置するので必要ない。個々に情報発信されると支援内容が交錯するなど、混乱を招く可能性もある。
- ・小・中学校のうち3校において体育館のトイレが外に設置されている。校舎のトイレを利用していただくことになる。雨に濡れないトイレへの動線確保は課題である。
- ・危機管理担当職員を福島県檜葉町に派遣して、活動報告を受けている。災害時の要配慮者の生活環境を維持することも大変な課題。今後とも環境整備に尽力する。

### ●答弁を受けて

災害時の対策は保険である。無保険では怖い、保険が財政的負担になってもいけない。そのバランスを判断するのが議会の仕事だと考えている。

発電設備として、太陽光発電設備が出てくることを想定していたが、答弁に出てこなかったため再質問の機会を失った。後に確認したが、体育館の構造として太陽光発電設備の荷重を支えることが難しいとの回答を得た。今後の技術開発が待たれる。

WEBを活用した情報提供について私は非常に有効だと考えている。混乱が生じる可能性があるとの答弁だったが、災害時はそもそも混乱状態で、少しでも情報が必要になる上に職員数も不足すると考えられるので、今後とも継続して提案していきたい。

## 2. 長岡京市の文化奨励事業

- ・文化振興に対する市長の姿勢
- ・文化振興と市民生活のつながり
- ・長岡京市文化奨励事業補助金交付要綱
- ・文化振興と観光戦略

### ●質問の背景（堤じゅん太のスタンス）

今年度は京都府において国民文化祭が開催され、市長自らも今年を文化元年と位置づけ文化奨励に努めるとの意気込みを示していただいた。しかしその実、「長岡京市文化奨励事業補助金交付要綱」の改正に見られるように、文化の創作側からは支援を受けにくい方向へと進んでいる。

財政運営が年々厳しくなっていく状況では、生活に直結する部分から手を入れていかなければならない。だからこそ、文化振興を市民生活に直結していくような施策を取らなければならない。また、行政としては文化振興を実利として還元されるような仕組みを作っていかなければならない。

文化は作り上げることは非常に難しいが、一度出来上がると持続する資源となるため、長岡京市として投資する価値のある事項だと考えている。

### ●答弁概要

#### <市長答弁>

- ・文化は自然や風土に根差した衣食住や立ち居振る舞い、など人間の生活すべて。
- ・人的・歴史的な文化資源を生かして市民が身近に豊かな文化を享受できる環境を作りたい。
- ・交流と参加が文化のすそ野を広げていく原動力になり、地域の発展向上につながる。

#### <教育長答弁>

- ・文化奨励事業助成要綱の改正は交付申請の手続きを簡易なものにするため。
- ・行政等の催事への協力又は参加事業については従来通り育成支援することに変わりない。
- ・限られた資源を有効かつ公平に使用するため、予算の範囲内で支援する。
- ・素晴らしい文化があるところに人は魅了され、訪れたいもの。長岡京市に多くの方が来訪され文化交流と観光振興がより一層図られるよう期待する。

### ●答弁を受けて

限られた予算だからこそ、選択と集中が課題になる。市民のすそ野を拡充することはもちろん重要であるが、今は市民の目標になるモデルを作ることが重要だと考える。長岡京市はサッカーにおいて世界的な選手を輩出した。それは本市のスポーツ文化を牽引する象徴となる。その他の文化に対してもモデルを作り、それを本市に経済的に還元できる仕組みを作れるよう継続的に提案したい。



# 長岡京市議会議員 大伴まさのり 市議会レポート

2011.6 ~ 2011.9

## 大伴雅章の議会活動



### 6月定例議会 6/6~6/21

6月の定例議会の一般質問では、2項目の質問をいたしました。

#### 大震災から本市として何を学ぶか?

Q & A



**大伴質問** 想定外の災害に対して、地域防災計画の見直しをするべきでは? 例えば、幼児・小中高校生の授業中での避難対応策、人の確保という意味で夜間などでの職員の確保、自主防災会の実際上での機能の検証、他の機関の公務員で本市在住者の活用、そして市としての放射線汚染対策は、今後どのように考えていけるのか?

#### ●市長答弁

今まででは考えられなかった災害も起こることが良く分り、今までの防災計画をご指摘の項目だけでなく、すべてにわたり見直しの指示をしており、特に教員原簿から約70kmの本市においても、全く影響がないとは断定しがたく、早急に対策をねっています。

#### ★大伴解説

震災関連については、多くの議員からも同様の質問が出され、真剣に取り組んでいると感じています。また復旧支援についても、本市の場合いち早く、職員の長期にわたる派遣をはじめ、市の備蓄備品や市民からの支援物資を速やかに届けるなど、他市に比べ、迅速に対応され、大いに評価をしています。

#### 校庭の芝生化について

Q & A



**大伴質問** 私が議員になってから幾度となく質問させていただき、今やっと第7小学校の改築に当たって実験校として校庭の芝生化の予算がつき喜んでいるのですが、基本的な位置づけとして、地域コミュニティが基本ですか?

そして今回の芝生化の整備についての、費用内訳を教えてください。

#### ●教育長答弁

あくまでコミュニティが基本で、約1,000万円の予算です。

**大伴再質問** 委員会で視察した弊田市では、市民のコミュニティに期待するのではなく、あくまで市のまちづくり基本計画の重点整備テーマとして取り組んでおられ、初期整備費用も300万円ほどで、より多くの学校の整備を目指されておりました。そして管理もボランティアに任せず、予算化して地域と共にやっておられました。一校豪華主義ではなく、より多くの学校の校庭の芝生化を推進してほしい。

#### ●市長答弁

緑化対策や環境対策としても芝生化は大切で、コミュニティにも期待しながら、今後出来ることから芝生化を進めていきたい。

#### ★大伴解説

校庭の芝生化の推進をずーっと断念してきて、やっと実現できるということは、本当に嬉しいことなのですが、より多くの学校がより早く芝生化されることへの想いの中、あえて苦言を呈した質問になりました。

### 9月定例議会 8/29~9/26

9月定例議会の一般質問では、3項目の質問をいたしました。

#### 市民協働参画とは

Q & A



**大伴質問** 今回の3項目の質問は、基本的なこと具体的なこと、さらに各論でのことと、すべて関連付けて行いまして、まずは市長の重点施策の市民協働参加について、その概念の整理をすべく、市の事業の市民協働参画

# 長岡京市議会議員 大伴まさのり 市議会レポート



に適する事業の仕分けの必要性についてと、参画する団体への財政支援の基本的な考え方を礼しました。

#### ●市長答弁

おっしゃる通りです。財政支援が必要な団体に対しては支援していく。

#### 自治会活性化対策について Q & A



**大伴質問** 自治会こそ市民協働参画の見本では?に始まり対自治会支援の組織がバラバラである実態を踏まえ、これの一本化は?人材育成にもっと力を入れたら?中でも団塊世代へのアプローチは?そして最後に協働参画のもう一方である市職員さんに対する意識付けは?という質問をいたしました。

#### ●市長答弁

自治会は市民協働参画の見本であります。また人材育成についてと職員の研修については、前向きに取り組みますが、組織については当面今のままで行います。

**大伴再質問及び答弁** 要望として、市職員は特に若い職員さんに行われるよう要望し、組織の1本化については、校区コミュニティ協議会はコーディネータは企画配置で、実施事業のものは総合型スポーツクラブで市教委が担当、さらにその協議会の中心となる自治会長が総務課担当だという例を出し、もう一度礼しましたが、答えは変わらずでありました。

#### ★大伴解説

かなりの部分で、行政が果たすべきコミュニティ施策の役割について理解していただいたとの実感はありますが、その支援窓口の一本化こそ、最後の決め手であるとかねがね考えており、今後も継続して訴えていきますが、課単位ではなく、せめて一本化したコミュニティ対策室ぐらいを市役所の組織に位置付けるべきだということでもあります。

#### 街路の樹木や花壇の協働参画について

Q & A



**大伴質問** みどりのサポーター制度を活用し、多くの市民が参加しておられる実情を踏まえ、特に私の地元の八条が丘自治会が、取り組んでおられる花の応援隊の活動を紹介して、もっと設置可能な道路へ花壇を増やされたら?そして実態上、市道ではこの制度が適用されませんが、府道では適用されませんので、府に申し入れをされたら?そしてもっと市民の皆様にも、参画を呼び掛けられたら?

#### ●市長答弁

まず冒頭に、八条が丘自治会の花の応援団に対して、評価と感謝の念を述べられました。府に申し入れを行う点と花壇についてと、さらに市民に呼び掛ける質問については、すべて前向きで行うとの答弁でした。



3月12日震災のあくる日、子供のサッカーの大会を予定していた、重苦しい気持で見ていた矢先、6月7日に横浜の日産スタジアムで開催されたサッカーの全日本対チエコ戦を宇佐美選手のご両親の御招待で見に行ったときに、偶然知り合ったのが、あの仙台空港のまだ海寄りの開上(ゆりあ)のサッカー少年団の諸君でした。なんでも監督は亡くなられ、団員全員体育館での生活だそうで、ボールをはじ

そして送付先は、必ず私達と同じ少年団で、災害で被害のあわれたところを探し、送りますと、私は団員や指導員・保護者に約束をしたのです。

ところが、3カ月過ぎようとしているのに、なかなか適当な送付先が見つからず、悩んでいた矢先、6月7日に横浜の日産スタジアムで開催されたサッカーの全日本対チエコ戦を宇佐美選手のご両親の御招待で見に行ったときに、偶然知り合ったのが、あの仙台空港のまだ海寄りの開上(ゆりあ)のサッカー少年団の諸君でした。

なんでも監督は亡くなられ、団員全員体育館での生活だそうで、ボールをはじ

めサッカー用具一式を流されたとのことでした。

しかも、その前日に家長選手や宇佐美選手というわが団の先輩から激励も受けたと聞き、何か不思議な縁を感じて、義援金を送らせていただいたのでした。

さらに7月3日に開催させていただいた、わが団のOBの家長・宇佐美両選手を囲む会の席上でこのことを披露すると、またまた両選手をはじめ参加された多くの方から募金を頂き、今回は現金だけでなく、サッカーができる幸せを噛みしめながらボールに子供たちの一人一人の想いを寄せ書きして、送らせていただきました。

# 2011年9月定例議会 一般質問

## 要旨

### ■ 市民協働のまちづくりについて

- ・ 国の法律(特定非営利活動促進法の一部を改正する法律)策定に伴う、長岡京市の市民協働のまちづくりの支援の在り方について
- ・ 市民参画協働懇話会の委員の選定方法や今後の在り方について

### ■ 行財政改革について

- ・ 行財政改革を進めるための長岡京市の外部評価、内部評価の在り方について
- ・ 長岡京市型次世代事業仕分けの在り方について

#### 1. 市民協働のまちづくりについて

～ 特定非営利活動促進法の一部を改正する法律の制定に伴う本市の対応について ～

6月13日に国会で「特定非営利活動促進法の一部を改正する法律」が成立しました。国の基準の他に、自治体が条例で規定することにより、自治体が独自に指定したNPO法人や公益法人等への寄付者が税額控除を受けることが出来たり、地方税についても税額控除が受けられる制度設計になっています。私たちの目に見える形でNPO法人の支援につながる制度です。長岡京市における条例制定の対応を問いました。

祐野) 本市条例でNPO法人や公益法人等を個別指定することで寄付者が税控除を受けられるようにすることへの見解は？

総務部長) 市税収入が減ることになるので当面考えていない。

祐野) 団体が寄付により自律していくと、現在市が行っている補助金を減額するなどの措置を講ずることが可能になり収支のバランスを取ることは可能なのでは？

市長) 市へ貢献のある団体を認定するということであり、その基準づくりの必要性は認識している。条例改正についても前向きに考えたい。

～ 市民活動協働懇話会と新補助金制度について～

本年度より市民活動協働懇話会のメンバーが替わり、また新しい補助金制度がスタートしました。実施状況と今後の在り方を問いました。

祐野) 行政から懇話会委員に対して、会の目的等の説明はあったのか？  
懇話会の議案に補助金の審査が入っているが、委員に申請団体の関係者が存在し、公正な審査とは言えないのでは？

企画部長) 1回目の懇話会終了後に勉強会を開催し、会の趣旨などを学んでいただいた。補助金については、厳密な審査を求めるものではなく、補助金の運用について意見を聞いたものである。

祐野) 本来は勉強会は、懇話会開催前に実施すべきである。また補助金の審査については公開制を担保し、成果報告会を開くことで透明性の確保を行うべきでは？

他の市民団体の刺激にもなると思うが、見解は？

市長) 勉強会や補助金の審査の在り方については今後検討したい。

#### □□ 今後の視点

市民協働のまちづくりの実現には、市民の方々が動きやすいサポートを行政が行うことや団体同士で不公平感が生まれにくいような制度設計、補助が既得権益とならないような仕組みなどが必要になってきます。今後も国政での新しい公共に対する動きを注視し、京都府の補助などを活用しながら、長岡京の市民協働のまちづくりを進めていきたいと思えます。



## 2. 行財政改革について

～ 行財政改革を進めるための外部評価・内部評価の在り方について ～

民主党の政権交代と共に広まった事業仕分けは、外部評価の手法として自公政権時代に始まり、今に至っています。行政のコスト意識を高め、効率性向上と市民への適切な行政サービスを実施するためには、こうした事業仕分けのような外部評価や自治体職員自ら行う内部評価を組み合わせ、常に事業の見直しを行っていく必要があります。長岡京市では昨年よりサマーレビュー（市長と部長級職員を中心とする会議）として、大きな政策の見直しも始まっています。

今後の長岡京市の行政評価（内部評価・外部評価）の在り方について聞きました。

祐野) 内部評価・外部評価と予算や決算の見直しおよび総合計画の管理を一連の行財政改革スキームとして構築することは？

市長) 総合計画と行財政改革アクションプランの重点方針と期間を一致させ、次年度予算編成を見据えたなかで見直しを図る予定としている。今年度からサマーレビュー、市民評価会、行財政改革、総合計画推進を柱とし一連の改革スキームとしている。

祐野) 一連のスキームの中でのサマーレビューの位置づけは？サマーレビューを公開することに対する見解は？

市長) サマーレビューは次年度の予算編成を見据えたなかで、主要課題を協議・検討する場である。公開については次年度以降、検討していきたい。



祐野) 内部評価の効率性を向上させるために、事業を廃止又は見直した部署に対し次年度予算のインセンティブを与えることについての見解は？

市長) 有意義とは考えている。しかし、毎年、歳出要求が歳入の見積額を大きく超える現状の中で導入は難しい。予算を一から見直しする中で積極的な提案について議論を深め、よりよい事業の選択が図られるように努めていきたい。

～ 長岡京市型次世代事業仕分けの在り方について ～

7月30日に市役所4階にて事業仕分けが行われました。今年で3回目となり、その手法も少しずつ変化しています。オブザーバーとして公共政策を学んでいる学生の方々にご参加いただいたり、事業を「継続」「見直し」「廃止」と仕分けするだけでなく、どのような改善をするのかという議論まで行うなど長岡京市独自の改良が施されている状況です。より効果性の高い手法の在り方、市民のみなさんに傍聴していただきやすい仕組みづくりについて取り上げました。

祐野) 来年度の事業仕分けを動画配信することに対する考え方は？

本年度に実施した事業仕分けを委員の意見や結果と共に記載し、ホームページ等で市民にどのように考えるかアンケートを実施することは？

企画部長) 動画配信は費用対効果の点から難しく、行政側としては生の仕分けをご覧いただきたいという希望がある。また、アンケートは当日実施したので、今後行う予定はない。

祐野) 動画配信は方法によっては数万円で実施できる。ライブでご覧いただきたいという理事者の希望は理解するが、現状として来場者数を増やす手立てがないのであれば、これまで実施していない新たな方法を否定するべきではないか？

市長) 個人的には動画配信は良いと思う。費用対効果を検証し、来年度の実施に向けて検討したい。

祐野) 事業仕分けにかかる事業は、数年で網羅的に行う方が、一定の緊張感を持って各部署が評価を行うことができ、効率的ではないか？

企画部長) 今後の内部評価の在り方と合わせて検討したい。

### □□ 今後の視点

市民のみなさんからいただいた税金は、最も効率的・効果的に使われるよう、常に見直しを行って行く必要があります。行財政改革の分野はなじみにくい印象をお持ちの方が多いと思いますが、自治体の根幹に係わる分野です。今後も、評価の在り方について取り上げていきたいと考えています。